

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【宮城県】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	学校名 : 富谷市立富谷第二中学校 対象学年: 全学年（17学級・481名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( ) ② 行事名 (全校道徳「スポーツの意義・精神を学ぶ」) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	○全校道徳「スポーツの意義・精神を学ぶ」 ・よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じる。 ・世界で活躍するトップアスリートの方の話を聞き、スポーツへの興味・関心を高め、スポーツに親しむ心を育む。
5 取組内容	○全校道徳「スポーツの意義・精神を学ぶ」  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>日時 平成29年9月27日(水) 場所 富谷第二中学校体育館 対象 全校生徒(481名) 講師 菅原智恵子氏</p> </div>  <p>講話では、フェンシング競技について、実際に使用するユニフォームや道具を見せていただきながら、ルールの違いや動き方など詳しくお話いただきました。また、実際のオリンピック会場や選手村の写真を見せていただき、世界各国のフードコートや宿泊している部屋の様子、選手村を歩いているポルト氏の写真など、普段テレビの中継映像では見ることのできない内容も紹介いただき、生徒たちは皆、興味深く見入っていました。</p>   <p>講話の中で、心に留まる言葉もたくさんありました。菅原氏は、一度現役を引退し、再びオリンピックに挑戦した経験をされていますが、「その時々で、助けてくれる人との出会いがあった。一人じ</p>

	<p>やない、必ず誰かが助けてくれる。」と話されていました。『引き寄せの法則』といい「一生懸命頑張っている人の周りには、自ずとサポーターが集まってくる」のだそうです。最後に、中学生に対して「目の前のできることを一生懸命頑張りましょう」というメッセージをいただきました。日々の学校生活や部活動に励んでいる生徒たちの心に響く、とてもすばらしい講演会でした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講話がたいへん分かりやすく、競技のルールや使用する道具、試合における動きや技術等、フェンシング競技について、詳しく且つ楽しく学ぶことができ、スポーツへの興味・関心を高めることができた。</li> <li>・世界トップレベルの選手の講話をとおして、周りの人への感謝の心をもつことや、努力を継続することの大切さを改めて学ぶことができた。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校道徳として実施することで、事後の振り返りも含め、日常の学習や学校生活と結び付けた行事にすることができた。</li> <li>・新人戦前に行事を設定し、講演会の振り返りを丁寧に行ったことで、生徒個々が自分の目標を再確認し、新人戦に向けての士気を高めることができた。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算の確保が必要となるため、年間を見通した計画の立案が必要である。</li> <li>・講師との連絡調整や、実施計画の作成、講演会の運営等、分担して取り組めるような組織づくりの工夫が必要である。</li> </ul>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマや学習内容を検討し、来年度も全校道徳を実施する予定である。</li> </ul>